

膜処理装置導入施設 16 年度実績



水道技術センターは水道用膜ろ過装置導入状況の平成 16 年度実績を、同センターの自主事業である水道用膜ろ過装置性能調査による認定取得企業 44 社の協力を得て集計しました。都道府県別の設置件数は兵庫県が 45 件と最も多く、岐阜県、長野県、北海道と続き、全国では平成 15 年度より、68 施設増加の 442 施設となりました。規模別の設置件数では、日量 250 m³ 未満が 219 件と約半数を占めており、小規模水道の浄水処理の主流として着実に浸透している実態が浮かび上がっています。また、大規模浄水場での導入も福井県企業局が国内最大規模となる浄水場(日量 51900m³)の建設を進めているのを始め、本格化の手前にあります。

水道法に基づく水質検査、当社にて分析承ります。

資料:2005 年 6 月 16 日付 日本水道新聞

生活環境箇所 貝森繁基

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

